

## 青年部

## 青年部総会開催

青年部（近藤大樹会長）第32回通常総会が、4月20日（金）午後4時30分から THE CONDER HOUSE（名古屋市中区）において、会員40名（委任状を含む。）が出席して開催され、来賓として（一社）愛知県産業廃棄物協会専務理事 渡邊 修氏が出席されました。

総会の司会進行は永井弘児副会長、開会の辞を加山順一郎監事が述べ、青年部会長挨拶で近藤会長は「日頃は青年部の事業にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。本日は協会会長の永井良一様が公務のため欠席されましたが、協会専務理事 渡邊 修様にご多忙の中ご出席いただけました。誠にありがとうございます。昨年は皆様が大変お世話になり各事業を開催することができました。到らぬ点も多々あったのではないかと思います。皆様方のご協力のもと本日このように総会を迎えることができました。これより総会が始まり事業報告、決算報告等々がありますので総会のスムーズな進行と、慎重審議をお願いして会長の挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。」と述べました。



開会の辞を述べる  
加山監事



開会挨拶をする  
近藤会長



来賓挨拶をする  
渡邊専務理事

来賓の挨拶として渡邊専務理事は「昨年環境省が振興方策という検討会の報告書を出しました。その中に、循環型社会の形成という国の目標があり、我々がどのように生き延びていくのか、模索していく過程で何が必要なのか、ということが事細かく書いてあります。特に気にかかるのは“このままのやり方をしていたら自然消滅をしてしまう”という言葉です。故にこ

れを機会に新たな方向、新たな考え方で会社の経営を行うという意識改革をお願いしたいと思っております。一步踏み出すためにも、新たな意識でこのような交流の場に臨んでいくことが重要ではないかと思っております。またそのような意識改革は、バイタリティのある若い世代にしかできないかもしれません。青年部の二世、三世の方や新たな経営者の方が環境社会へのビジョンを持ち、目標に近づく努力を惜しむことなく進むことができれば、我々の業界に明るい兆しが見えてくるのではないかと思っております。そういう意味において青年部の益々の活躍に期待しております。」と業界の未来を青年部に望む言葉が述べられました。



議長の金田副会長

その後議案審議に入るための議長選出では、金田 琳副会長が選出され審議が始まりました。

- 第一号議案 平成29年度事業報告、貸借対照表、収支計算書及び剰余金処理承認
- 第二号議案 役員退任承認
- 第三号議案 平成30年度事業計画及び事業収支予算書承認

第一号議案は原案通り承認されました。第二号議案の役員退任は、直前会長永田幹人氏の青年部卒業について審議され承認されました。永田氏にはこれまでの功績を讃え、盛大な拍手が送られました。第三号議案は原案通り承認され総会は閉会しました。

懇親会は同会場にて行われ、近藤会長は挨拶で「今年度の事業は、学びと遊びにメリハリをつけた事業を計画していきます。これにより会員同士の横の絆を益々深めて参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。」と述べました。乾杯の発声を渡邊専務理事が行い会食が催されました。



### ■平成30年度事業計画

2006年に青年部に入会し、12年という歳月が経ちました。その間、青年部に入会しなければ出会うことのなかったであろう諸先輩方や、多くの仲間に出会うことが出来ました。

それらは、私たちの人生にとって多くの学びや気付きを与えてくれました。

自分の人生を振り返ってみると其々の場所でご縁を得た皆さんによって磨いて頂いたと感じます。

自分の存在というのは人との関わり合いの中で初めて気づくことも多いのです。

あの時、あの瞬間あの方と出会わなかったら今の自分はないなあと思う方が何人かいらっしゃるのです。でもいくら出会うてもその人により自分を磨いてもらう志を持たなければそれは馴れ合いにしか過ぎなくなるでしょう。

その出会いをどのように生かすかは自分次第なのです。

人との出会いはかけがえのない財産であることは間違いないと思います。しかしながら、青年部も他団体同様、色々な理由により会員減少が進んでおり新たな仲間に出会う機会が少なくなっている状況であります。

その理由を紐解いていくと青年部に入会する意義や活動意義が見い出せてないからではないのかと思います。

青年部に入会していなければ実感する事の出来ないメリットや存在意義を明確にし、会員の資質向上を皮切りに本年度も活発な事業を遂行し実りある青年部にして行きます。

### <具体的計画案>

#### 【交流委員会】

- ・部会員相互の親睦・交流を深めるための事業
- ・全産連青年部協議会及び中部ブロックに関する事業への参加
- ・業界PR並びに業界活動の発信

#### 【教育情報委員会】

- ・廃棄物業界の動向研究及び部会員の知識・資質向上のための事業
- ・全産連青年部協議会及び中部ブロックに関する事業への参加
- ・業界PR並びに業界活動の発信

#### 【視察研修委員会】

- ・高度な専門知識・技能把握の知識向上のための事業
- ・全産連青年部協議会及び中部ブロックに関する事業への参加
- ・業界PR並びに業界活動の発信

### <事業・活動年間スケジュール>

#### 平成30年

- 4月 第32回通常総会
- 5月 中部ブロック通常総会（岐阜）
- 6月 全体会議（教育情報委員会）  
全産連青年部協議会総会（東京）
- 7月 中部ブロック事業
- 8月 全体会議（交流委員会）
- 9月 中部ブロック事業
- 10月 全体会議（視察研修委員会）  
中部ブロック事業
- 11月 全国部会長会議（金沢）
- 12月 全体会議（教育情報委員会）  
中部ブロック年末親睦会

#### 平成31年

- 1月 新年会（交流委員会）
- 2月 全体会議（視察研修委員会）

※上記以外、必要に応じ全体事業・活動の実施並びに参加あり。

